

施政方針に対する各党派総括代表質問

3月1日に行われた行財政全般にわたる今後1年間の市長の施政方針に対し、3月3日に各党派の代表が総括代表質問を行い、市長の姿勢や考えを質問しました。主な内容は次の通りです。

なお、施政方針の概要は広報ひがしくるめ(3月15日号)に、全文は東久留米市ホームページに掲載されています。

目次

多くの懸案課題を解決した市政を評価

質問 これまでの新型コロナウイルスウィルス感染症対策の取り組みは。

市長 2年2月に対策本部を立ち上げ、小・中学校の臨時休業、学童保育所・保育園・幼稚園などの対応、公共施設の休館・イベント中止の判断などの対応、東久留米市医師会によるPCR検査センター開設、市内約20カ所の医療機関で検査体制を整えている。

また、国・都の交付金も活用し、プレミアム付商品券発行事業、子育て世帯への給付金支給等の生活者支援、感染拡大防止に取り組んでいる事業者への支援など、各分野において市民への影響を最大限抑えられるよう対策を講じた。

質問 市長1期目から7年余を振り返っての実績と評価は。

市長 上の原地区への企業等誘導、戸別収集・家庭ごみ有料化の開始、60名の保育所等の定員拡大、旧大道幼稚園跡地に子どもセンターあおぞらを開館、学童保育所の運営に民間活力を導入、上の原・ひばりが丘地区に特別養護老人ホームが開設、都市計画道路2路線・市道29号線が開通、デマンド型交通「くるぶ」の実験運行を開始、安定した市政運営、誰もが夢と希望の持てる元気なまちとする

多くの懸案課題を解決した市政を評価

質問 市立小・中学校でのGIGAスクール構想の機器整備と教員の研修等の状況、今後のスケジュールは。

市長 2月から教員向け操作研修・学習支援ソフト活用研修を行い、3月までに各校へ1人1台のタブレット端末の配置や環境整備を行い、3年度から本稼働していく。

質問 国民健康保険事業運営基金の推移や一般会計繰入額などの状況は。

市長 同基金は、残高が3月補正後の予算ベースで約3億3000万円、前年度比約4000万円減、当初予算で一般会計からの繰入金を6億3054万7千円計上している。

質問 今後の市の魅力発信についての考え方は。

市長 既存の情報発信媒体に加え、市公式動画チャンネルでも情報提供していく。また、市の魅力として、漫画「ブラック・ジャック」のキャラクターをモチーフとしたデザインマンホール蓋、東久留米市商工会の協力により東久留米駅西口に同キャラクターのモニユメントが加わる。市内外に向けて、さまざまな方に届くような情報発信をしていく。

市民に利するデジタル化の推進

デジタル化の推進

質問 新型コロナワクチン接種の準備状況は。

市長 東久留米市医師会の交付金を活用し、プレミアム付商品券事業や商店街支援事業などの補正予算を本定例会に提案した。

交付金を活用し、プレミアム付商品券事業や商店街支援事業などの補正予算を本定例会に提案した。

質問 中学校体育館へのエアコン設置のスケジュールと小学校への設置は。

市長 7月末までに整備、8月から稼働する。中学校では部活動などでも使用が多いため整備した。整備後の状況を把握していく。

質問 3年度、放課後子供教室はこれまでと異なる担い手による新たな手法で実施されるがその考え方は。

市長 同教室は、国の新・放課後子ども総合プランで5年度までに全校実施が求められている。実施に向けて担い手の確保が課題となっており、さらに、補助金に頼らない事業運営を求める考え方が示されている。

質問 実施設計が行われる庁舎非常用電源の効果は。

市長 災害時に72時間の電力確保、太陽光で発電、消費電力抑制も見込める。

日本共産党

市政でもケアの手厚い社会の実現を

質問 障害福祉サービス事業所等における新型コロナウィルス感染症に係るPCR検査等経費補助事業について、無症状でも定期的に対象外の施設などで検査を行うべきでは。

市長 東久留米市医師会と協議し同事業を実施してきたが、広く無症状の方に対する社会的検査を行うことは想定していない。

質問 しんかわ保育園の園児募集停止を見送ることを求めるが。

市長 東久留米市保育サービス部の施設整備・運営及び提供体制に関する実施計画



東久留米駅西口ロータリーに建立された「ブラック・ジャック&ピノコ」像

未来政策フォーラム

市民の未来を

質問 東久留米市第5次長期総合計画基本計画を補完する予定計画事業一覧をさらに充実したものにできないか。

市長 各分野の個別計画等に位置付けられた計画の主なものや制度改正による行政課題などを整理し、基本計画を補完する資料として取りまとめている。

質問 今後導入されるタブレット端末の児童・生徒の自宅での活用は。

市長 教育委員会では、まずはタブレット端末を使った授業の定着を図り、今後どのように展開していくか検討していく。

質問 スポーツ健康都市宣言は7月14日の聖火リレーに合わせて行われるとのことだが、オリンピックが中止・延期になった場合は、市長 現時点では開催の方角で準備が進んでいるものと承知しており、その動向を注視している。

質問 災害時における避難行動要支援者に対する避難計画策定の予定は。

市長 3年度末に予定している地域防災計画の改訂に合わせ、避難行動要支援者に係る全体的な考え方を整理し進めていく。

質問 国が既存施設を調査中の上の原地区の居住者のいない住宅地区Bに関して、今後の予定は。

市長 土地利用構想整備計画において、教育関連施設、研修施設、スポーツ関連施設など、まちのイメージアップにつながる施設の立地を構想に描いており、同地区の利用に当たり国と意見交換を継続しながら、構想に描いた土地利用を目指し取り組んでいきたい。

質問 今後のまちづくりの推進を

質問 市長は本年の「文字「希」をコロナ禍の市民へどのように示すのか。

市長 さらなる事業者支援市民生活支援などについて本定例会に補正予算として提案している。

質問 みんなが主役のまちづくりのための3年度の取り組みは。

市長 第5次長期総合計画基本計画において、全ての基本目標と基本的な施策に必要な横断的な取り組みとして、協働によるまちづくりの推進を掲げている。また、市民参加・情報提供の指針、協働の指針に沿って、市民・行政がそれぞれの役割と責任を担い、共に進めるまちづくりを推進する。

質問 若い世代・担税世代の転入には何が重要か。

市長 ホームページ・SNS・動画での情報発信を継続し、認知度向上や誘客促進につなげたい。また、地域産業推進協議会では観光振興の情報発信をしており、今後も支援していく。

質問 市長座談会のウェブ会議等での再開は。

市長 市政に対する意見・要望は、私も含め広聴担当や各事業の担当課で引き続き受け付けていく。

質問 司資格を有する市職員や図書館職員の育成を強く求めるが。

市長 教育委員会では、図書館職員育成方針に基づき取り組むとともに、必要に応じて人事部門と連携し運営体制維持に努める。

質問 地域の子育て支援の拠点として、公立保育園のさらなる活用は。

市長 公立・民間の運営主体によらず各施設で適切に取り組んでいると考える。